

第7回自治基本条例策定分科会の検討結果について(確認)

【骨子(案)について】

<前文について>

- ネガティブな要素も含める → それを乗り越える、問題解決のために条例を作る(制定理由)
- 地域特性(3町合併、扇状地など地理的なキーワード)を書く
- 市民憲章の5つの項目を基本とするが、個性的な表現を加えたい
- 時代とともに農業も大きく変わってきた(圃場、経営)ことを書いてはどうか
- 当地域は他地域からの助けを受けてきたこと、連携・協力により発展してきたことを踏まえ、今後も良好な関係の中で、海津市が発展していきたい
- 南濃の自然環境やハリヨなど、素晴らしい地域の財産を表現しては
- 社会情勢を踏まえた条例の必要性を書く(人口減少が1つのキーワード)
- 基本原則をベースに前文を考える

<基本原則について>

※意見なし

【市民を巻き込む仕掛けづくりについて】

- 各庁舎に掲示板。(簡単な)問いに対する答えをポストイットに書いてもらってはどうか。また、お知らせのための案内板として使ってはどうか
- (骨子案ができてから)自治連合会→地元を下ろしてもらう
- 新聞記事、折込広告の活用(面白い取組ならマスコミが取材してくれるのでは)
- WSまたはアンケートは、高校生以外に小学生や中学生も含めたい
- イベント時に条例PR用(検討中していることを知ってもらうため)のパネル展示
- WS等で、粗品を出してほしい
- 農業者にヒアリングする機会(→何を聞きたいか)

今後の検討について(案)

- 前文、基本原則は、今後一通りの議論が終わってから、再検討する。
- 市民WSは、高校生WS(学校で開催)に一般市民にも参加してもらって実施する。
- 手づくりの掲示板を活用し、庁舎や市の施設で、WSや進捗状況のPRを行う。
- 特定業種、団体に対するヒアリングは、ヒアリング項目を委員が設定する。実施体制については、参加できる委員と事務局で行う。(ヒアリングの開催時間や聞きとる内容が不明なため。)